

地域医療連携室 NEWS

平成 26 年 7 月発行 第 33 号
医療法人札幌清田病院 地域医療連携室

★新病院のご紹介★
～放射線課編～

放射線課は操作室を中心に一般・マンモグラフィー撮影室、CT室、第1透視室、第2透視室の4つ撮影室で構成されています。

透視装置2台は、大学病院にも導入されている新型のDR（デジタル式透視装置）で、少ない放射線量で鮮明に撮影が出来ます。

新病院にはPACSと3Dワークステーションが導入されました。

PACS（Picture Archiving and Communication System）とは、医用画像管理システムのことです。インターネットのように院内の専用パソコンで画像が観察出来ます。

撮影した画像をフィルムに印刷せず、瞬時に外来、病棟のモニター画面で診断ができるため、患者さんの待ち時間短縮も期待されます。

3DワークステーションはCT画像をコンピュータ処理することにより、立体画像や任意断面画像を作ることができます。あらゆる方向、断面で観察することで診断や治療に貢献します。新病院建設と共に導入された最新の装置を活かすためにも、スタッフの更なるスキルアップを図って行きたいと思えます。

十倉敦彦



平成 26 年 7 月発行 第 33 号

〒004-0831 札幌市清田区真栄 1 条 1 丁目 1-1 地域医療連携室

電話 011-883-6111（代表） 011-883-8221（直通）

発行責任者：医療法人札幌清田病院 地域医療連携室室長 井原康二（副院長）

